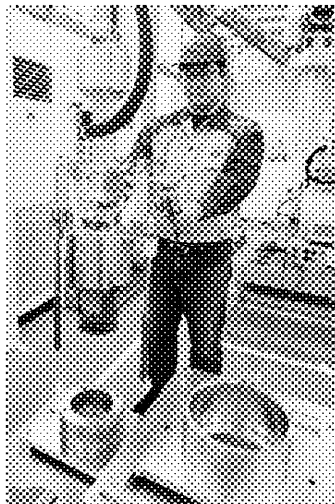


エア操作でCO₂削減 ハンドクレーンに新機能

アイコクアルファ

【名古屋】アイコクアルファ（愛知県稲沢市、樋田克史社長）は、重量物搬送用ハンドクレーン「ラクラクハンド」のカーボンニュートラル（CN、温室効果ガス排出量実質ゼロ）対応により販売を拡大する。同製品のエア使用量を減らせる機能をオプションで搭載できるようにした。従来比で約3割の二酸化炭素（CO₂）削減が見込め、顧客のニーズに応える。

エア式ラクラクハンド。新機能「省エネ回路は圧縮空気を原動力」路」を搭載することとしてモノを持ち上げで、作業者が手元のレ



新機能「省エネ回路」の搭載で、作業者は手元のレバーなどで簡単にエアのオン・オフを切り替えられる

バーなどで簡単にエアえられるようにした。のオン・オフを切り替 自動車のアイドリング

ストップ（停車時エンジン停止）のように、使用中のみオンにすることでエア消費を最小限に抑える。

従来は作業者から離れた場所にスイッチがあったため、長時間エアを流しっぱなしにせざるを得ず、ムダな消費が課題となっていた。

ラクラクハンドは自動車の組み立てラインなど自動車業界で多数の採用実績がある。モノを無重量の状態に保ち、位置合わせが簡単

にできるなど手に近い感覚で操作可能なことが特徴。顧客からCN対応の要望があったことなどから新機能の開

発に至った。

ラクラクハンド事業は、トランプ米政権の関税措置の影響を受けて、米国現地生産向けの需要も高まっている。

省エネ回路の提案とも相まって拡販につなげ、2026年3月期の同事業の売上高は37億円を見込む。